

準備しておきたい 避難グッズ

避難する際には、誰がどの猫、どの荷物を持ち出すか、事前に家族で確認しておきましょう。
また置き場所にも工夫をして、例えば、玄関やガレージ、車の中、など、数カ所に置いておくのもおすすめです。



ドライフード

食べなれたフードを用意しておいて。
支援物資が届くまでに3~7日かかるので、それまでの分が必要。

缶詰、パウチタイプの ウェットフード

水が少ない時に水分の多いウェットフードが役立ちます。

おやつ

慣れない環境になることも多いので、大好きなおやつを用意しておきましょう。

ペットボトル入りの水

飲用はもちろん、傷口を洗うのにも使えます。

携帯用フードボウル

薬や処方箋

ペットの写真

迷子になってしまった時のために。
全身が写っているもの、特徴がよくわかるものと家族と一っしょに写っているもの数枚。

トイレ砂・ペットシート

使い慣れたトイレ砂をペットシートの上に敷いてトイレ容器の代用にも。

首輪、ハーネス(胴輪)、リード

首輪は迷子札といっしょに家の中でも常に付けておいて。

キャリーまたはケージ

避難所での生活には必需品。
ケージは緊急の避難時には持ち出せない
ので、後から取りに行きましょう。

おもちゃ

必需品というわけではないので、後回しになるおもちゃですが、緊急時こそストレス解消に必要です。

消臭剤

他にもこんなものがあったら便利

黒の油性ペン

迷子のペットの情報伝達に。

ビニール袋

あれは何かと重宝するので、いろんなサイズのもの、枚数も多めに。

※密封袋もフードやおやつ
の保存に便利。

応急手当用品

絆創膏、ガーゼ、包帯、洗浄綿、綿棒、はさみなど。

保温用具

使い捨てカイロ、毛布など。幼猫や冬場の対策として。

タオル

いろいろそろっていれば、役立つものは多くなりますが、荷物も増えてしまいます。
これらすべてをそろえるのではなく、わが家にとって大事なものを選んで、なるべく身軽に避難できるように準備しておきましょう。